

1. 教育の責任

経営学部の教員として、デジタル社会とテクノロジー、デジタルヘルスケア特講、経営学の扉、経営と情報システム、キャリアデザイン I・IIを担当している。また、通信教育課程では基礎ゼミナール I・IIを担当している。

2. 教育の理念

学生たちに伝えたいことは「情報技術が築く未来に期待感をもってもらうこと」である。特に基礎学習段階の学生には、情報技術に対して苦手意識を持ってしまわないように体験学習や事例紹介を交えながら情報技術が豊かな社会づくりに不可欠であることを伝えたいと考えている。また、超スマート社会と言われる今日においても、情報技術は万能ではなく、情報格差やセキュリティ問題など、新たな課題を生み出す可能性も秘めていることを学生たちにしっかりと認識させたいと考えている。そのためには、コンピュータの操作スキルを磨くだけでなく、情報技術と社会、経済、倫理など、様々な分野との関連性を理解し、幅広い視野をもって情報技術のあり方を考えることができる人材に成長してほしいと願っている。

3. 教育の方法

講義科目においては、図表やイラストを豊富に使い、最新の情報を反映した独自教材を作成し、学生にとって見やすくわかりやすい資料提示を心がけて授業を進行している。授業では、グループディスカッションを通して多様な意見を理解し、自分の考えを伝える力を養ったり、プログラミング等の体験学習を通して問題解決能力を高めたり、最新の技術トレンドに関する動画を用いた事例紹介を通して情報技術への関心を高めたりするなど、理解の向上を図っている。大人数授業においても、Teams のチャット機能を使ってリアルタイムに意見を求めるなど理解の向上に努めている。

一方、演習科目においては、学生によってスキル修得にかかる時間が大きく異なるため、授業中は机間巡視を重視し、個々の学生の学習進度に合わせたフォローアップに努めている。さらに、復習が重要な授業においては授業内容を録画し、Teams 上にアップロードすることで、復習の際や欠席時に視聴できるように工夫し、学生の学習を支援している。

4. 教育の成果

いずれの授業もわかりやすい資料提示に加え、就職した後も役立つ実践的な情報を織り交ぜながら講義に努めたこともあり、授業アンケートでは比較的高い評価を得ることができている。

5. 改善への努力と今後の目標

情報技術が築く未来に期待感をもってもらえるように自らデジタル技術を活用した教育を実践しながら学生の心に火をともし授業を目指したい。

【添付資料】